

事務事業名		庁用車更新及び新規購入				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	0:6: 合理的な行財政の運営と住民参加のまちづくり				所属課	総務課	担当	管理担当
	施策名	3:0: 効率的な行政運営の推進				課長名	廻谷 陽一	担当者名	藤崎 昭久
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)				<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 (平成25 年度～ 平成29 年度)			
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 概要 現在、総務課の管理する庁用車は、軽乗用車等 13台(出先含)、ワゴン車 3台、普通乗用車等 4台で合計20台ありますが、その内 購入後10年以上経つ車や、10万キロを越える車も数台残っている状況です。また、最近では、外に出る仕事が多いため庁用車の空きがなく配車調整が難しい事が多々あり、現在の状態が長期的に続いてしまうと、円滑な車両運用が行えないため、5か年計画で総務課で管理する庁用車更新及び新規購入をする。 なお、庁用車の更新及び購入については、別紙の5か年計画書を基本に行いたい。 ※ワゴン車については、購入費、維持管理費が割高なため、維持管理費含みでの、車両リースを検討したい。</p> <p>2 業務 計画書を基に、庁用車の更新、購入を進める事で、円滑な車両運用を図る。</p>							

(1) 事務事業の目的と指標			
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	平成25～29年度 5か年合計	更新 9台	購入 1台
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	全職員		
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのかを記載)	利用件数の増加。 庁用車購入により円滑な庁用車運用が望める。		
④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	名称	単位	
	ア 台数	台	
	イ		
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	名称	単位	
	ア 利用者数	人	
	イ		
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	名称	単位	
	ア 利用人数	人	
	イ		

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値	2	2	2	2	2	2
		実績値						
対象指標	ア	目標値	125	125	125	125	125	125
		実績値						
成果指標	ア	目標値	100	100	100	100	100	100
		実績値						

計画		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度	
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	2,000	3,000	3,500	3,000	2,000
		事業費計(A)	千円	2,000	3,000	3,500	3,000	2,000
人件費	正規職員従事人数	人						
	延べ業務時間	時間						
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,000	3,000	3,500	3,000	2,000	

実績		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円				
		事業費計(A)	千円	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人					
	延べ業務時間	時間					
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	町職員が使用するため	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	購入する事で、庁用車の円滑な運用が望める。	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	車両の燃費、維持管理費、環境性能等を十分に考慮する。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	受益者負担はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 25 年 8 月 30 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input checked="" type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件 計画を精査すること。特に平成25年度分については、緊急性や車検の時期等を考慮する	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等) ・計画的な更新等を行うことはよいが、年度途中(補正)での予算措置は、特別の理由がない限り望ましくない ・将来的には、電気自動車の導入を検討してほしい(庁舎整備時期に合せるなど) ・車両購入に係る補助事業等に該当するなど、町の負担が軽減される手段があれば、計画に固執せず、柔軟な対応をとること

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 一 年 一 月 一 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業